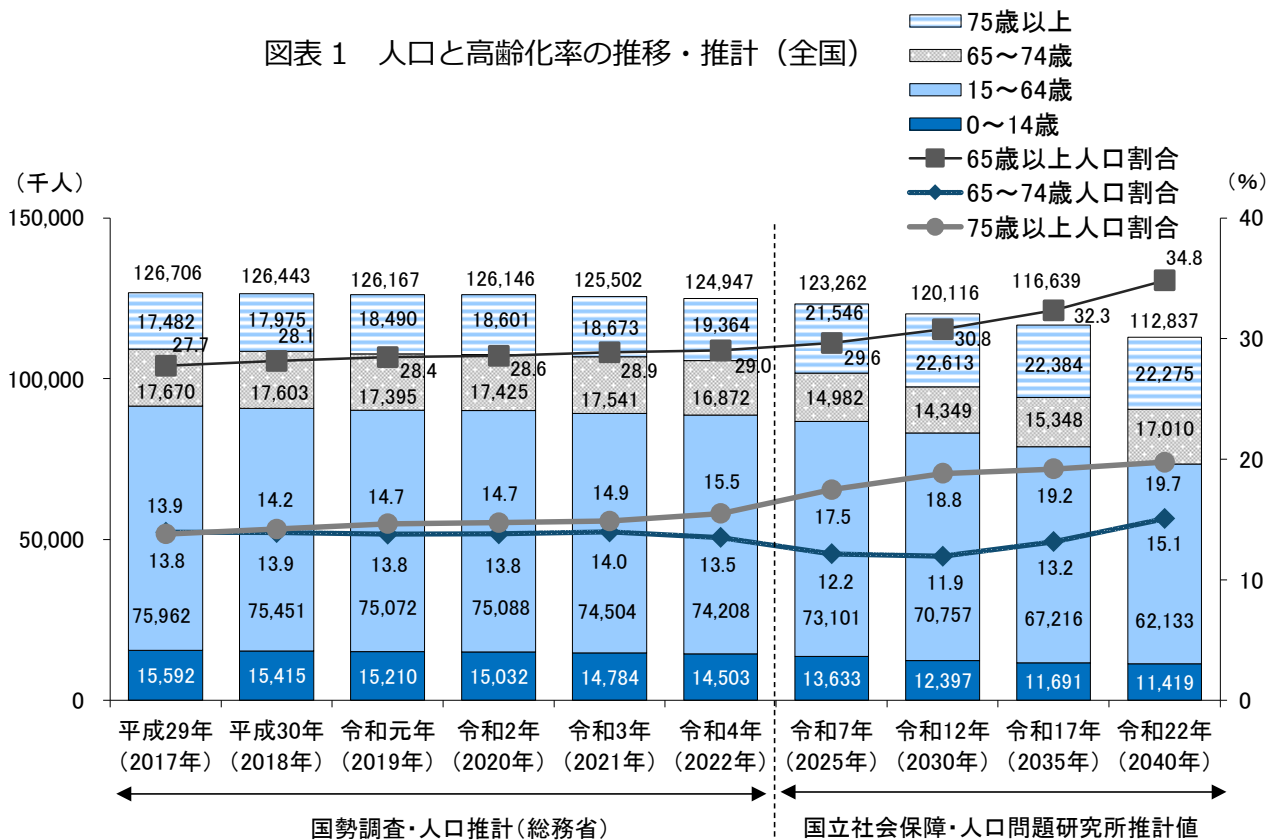


## 高齢者を取り巻く現状

### 1 人口の推移と推計

#### (1) 全国の人口の推移と推計

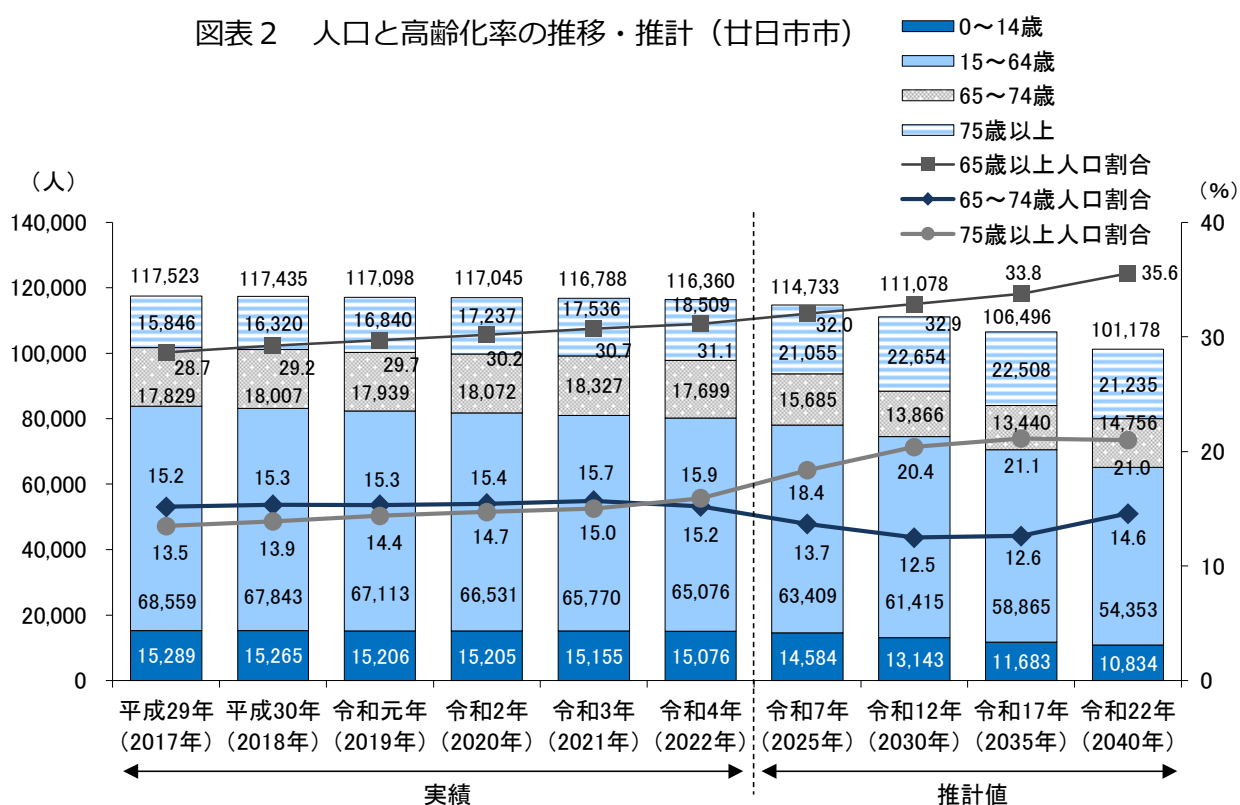
- 全国の総人口は減少傾向にあります。高年齢者の占める割合は上昇し、2040年（令和22年）には34.8%となると見込まれます。
- 0～14歳人口、15～64歳人口は減少し続け、2040年（令和22年）の15～64歳人口は、令和4年より16.3%減となると見込まれます。
- 75歳以上の後期高齢者人口は2030年（令和12年）までその伸びが大きいことが見込まれます。



## (2) 廿日市市人口の推移と推計

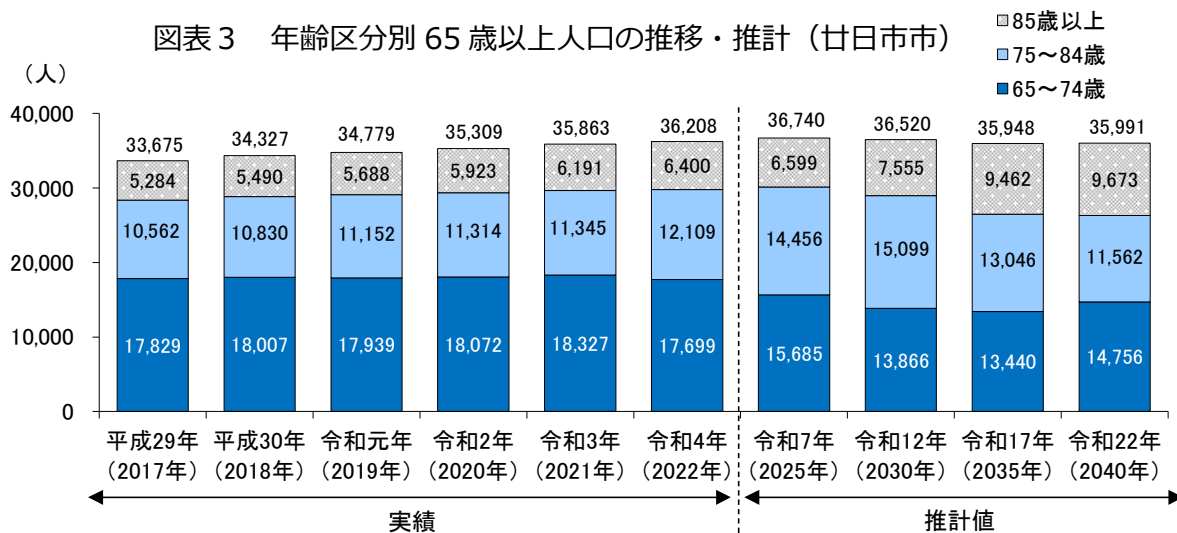
- 本市の住民基本台帳人口による総人口は減少傾向にあります。全国と同様に高齢者の占める割合は上昇していくと見込まれます。
- 特に75歳以上の後期高齢者の伸びが大きく、令和4年（2022年）に75歳以上人口の割合が65～74歳人口の割合を上回り、2030年（令和12年）には後期高齢者割合が2割を超えると見込まれます。
- 要介護認定者の割合が高くなる85歳以上人口も2030年以降大きく増加し、2040年（令和22年）には9,673人となると見込まれます。
- 本市の高齢化率、後期高齢化率ともに、全国よりも高い値で推移することが見込まれますが、2040年（令和22年）にはその差が小さくなります。
- 2035年（令和17年）から2040年（令和22年）の後期高齢化率は、全国では上昇傾向が続きますが、本市では横ばいとなると見込まれます。

図表2 人口と高齢化率の推移・推計（廿日市市）



資料：令和4年まで住民基本台帳人口・令和7年から住民基本台帳人口を基とした推計人口

図表3 年齢区分別 65歳以上人口の推移・推計（廿日市市）

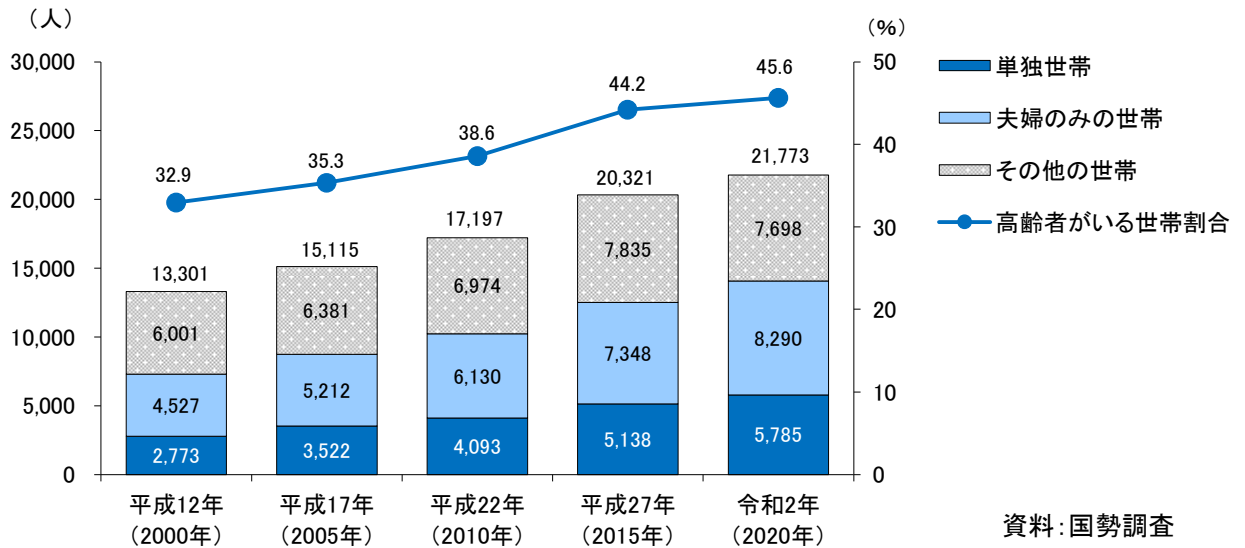


資料：令和4年まで住民基本台帳人口・令和7年から住民基本台帳人口を基とした推計人口

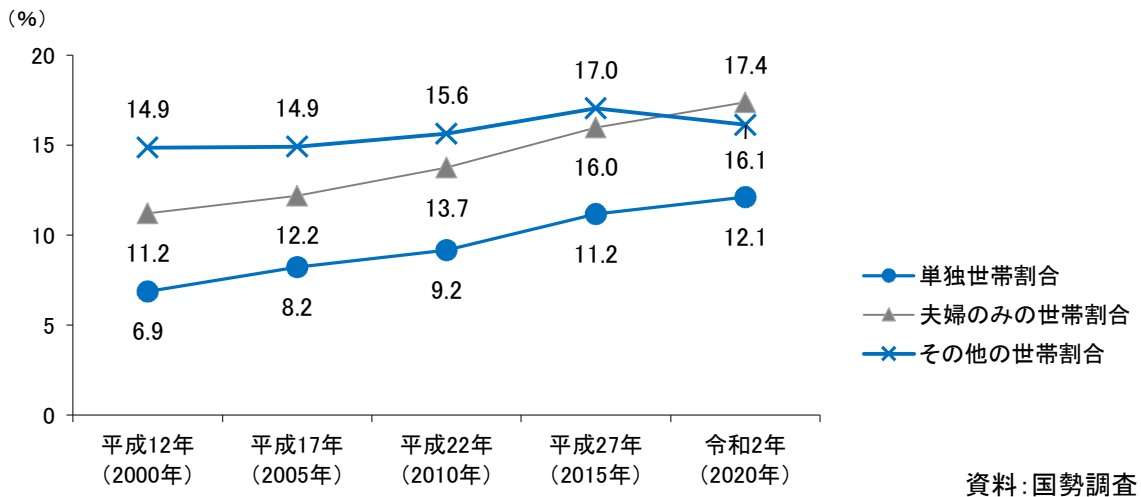
## 2 高齢者がいる世帯の推移

- 本市の国勢調査による65歳以上の高齢者がいる世帯は増加しており、一般世帯に占める割合も上昇しています。
- 夫婦のみの世帯、単独世帯の伸びが大きくなっています。

図表4 高齢者がいる世帯数と一般世帯に占める割合（廿日市市）



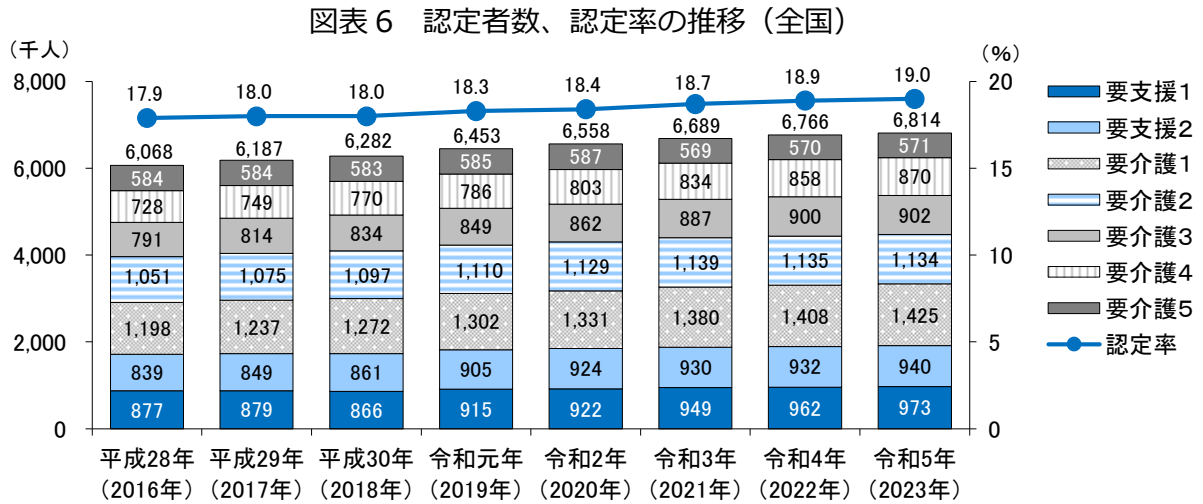
図表5 家族類型別高齢者がいる世帯割合（廿日市市）



### 3 要支援・要介護認定者の状況

#### (1) 全国の認定者数と認定率の推移

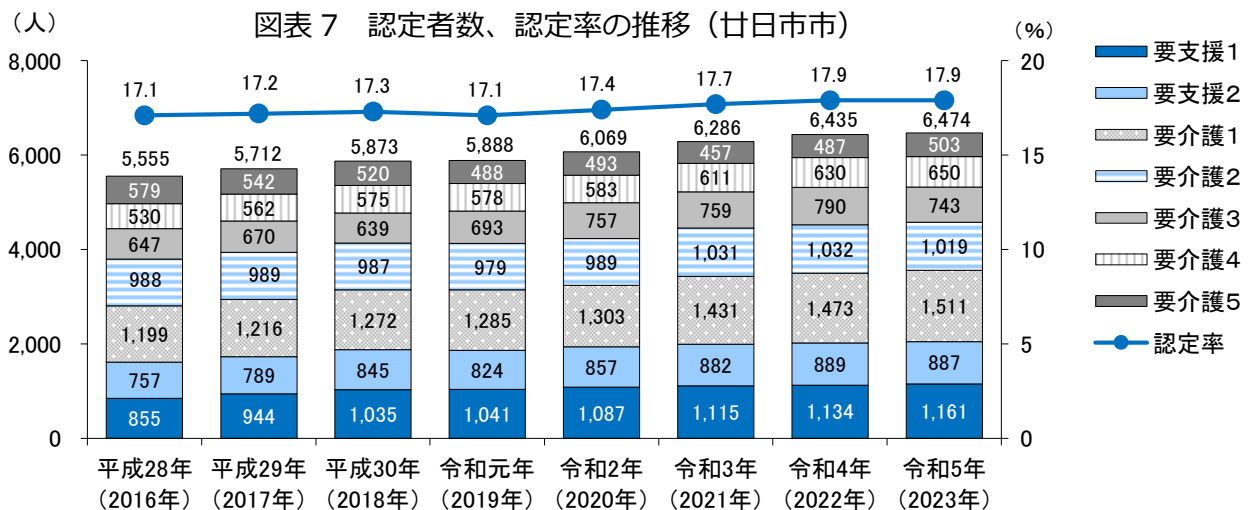
- 要支援・要介護認定者数は増加傾向にあり、令和5年3月末時点で6,814千人と、令和2年3月末と比較すると3.9%増加しています。
- 増加率は要介護1・4の認定者が高くなっています。



資料: 令和3年まで厚生労働省介護保険事業状況報告(年報3月末時点)  
令和4年から厚生労働省介護保険事業状況報告(月報3月末時点)

#### (2) 廿日市市の認定者数と認定率の推移

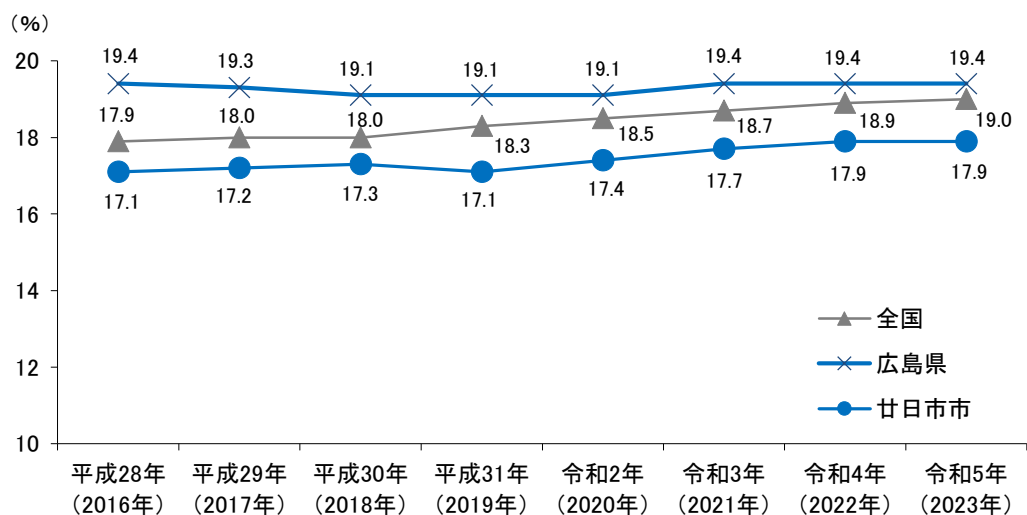
- 本市の要支援・要介護認定者数も増加傾向にあり、令和5年3月末時点で6,474人と、令和2年3月末と比較すると6.7%増加しており、全国の伸びよりも大きくなっています。
- 増加率は要介護1の認定者が最も高く、令和2年3月末と比較すると16.0%の増加となっています。



資料: 令和3年まで厚生労働省介護保険事業状況報告(年報3月末時点)  
令和4年から厚生労働省介護保険事業状況報告(月報3月末時点)

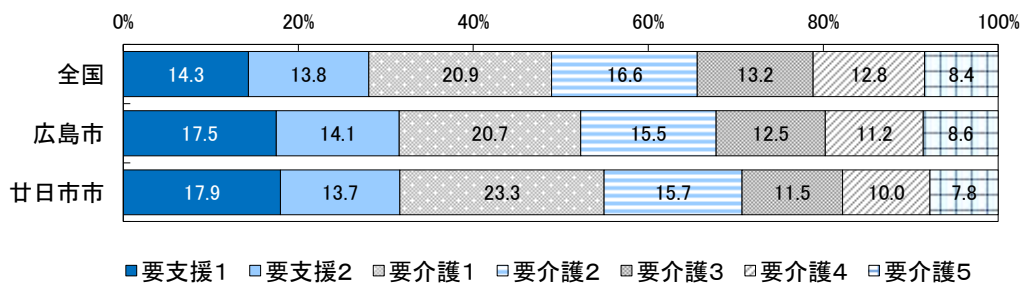
- 本市の第1号被保険者数に占める認定率は17%台で推移しており、全国、広島県と比較すると低くなっています。
- 本市の令和4年3月現在の要介護度別の認定者(第1号被保険者)割合は、全国と比較すると要支援1、要介護1の割合が高くなっています。

図表8 認定率の推移 (全国・広島県・廿日市市)



資料: 令和3年まで厚生労働省介護保険事業状況報告(年報3月末時点)  
令和4年厚生労働省介護保険事業状況報告(月報3月末時点)

図表9 第1号被保険者要介護度別認定者割合 (全国・広島県・廿日市市、令和4年3月現在)

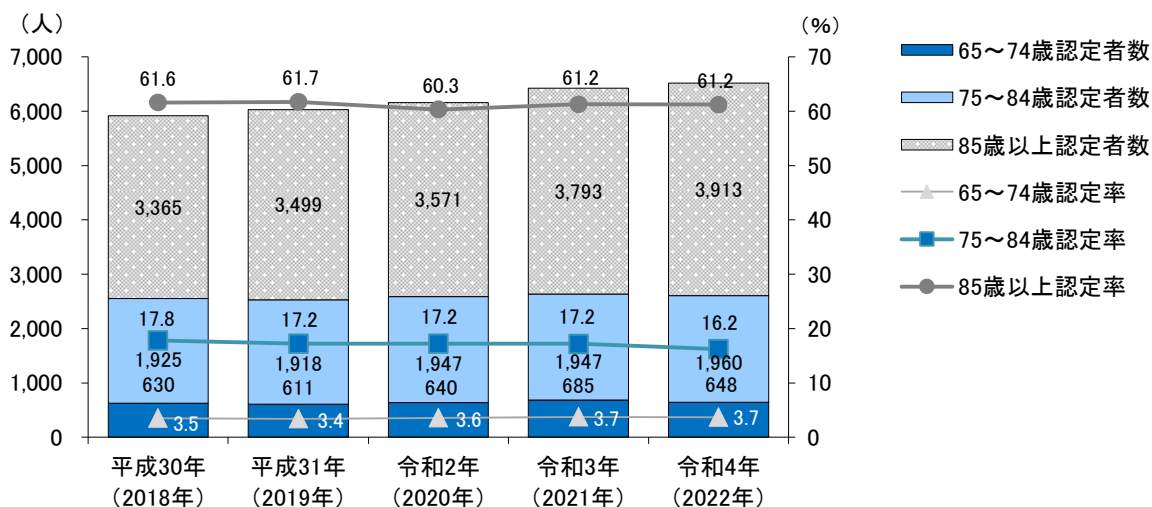


資料: 厚生労働省介護保険事業状況報告(月報3月末時点)

### (3) 廿日市市の年齢区分別の認定者数と認定率の推移

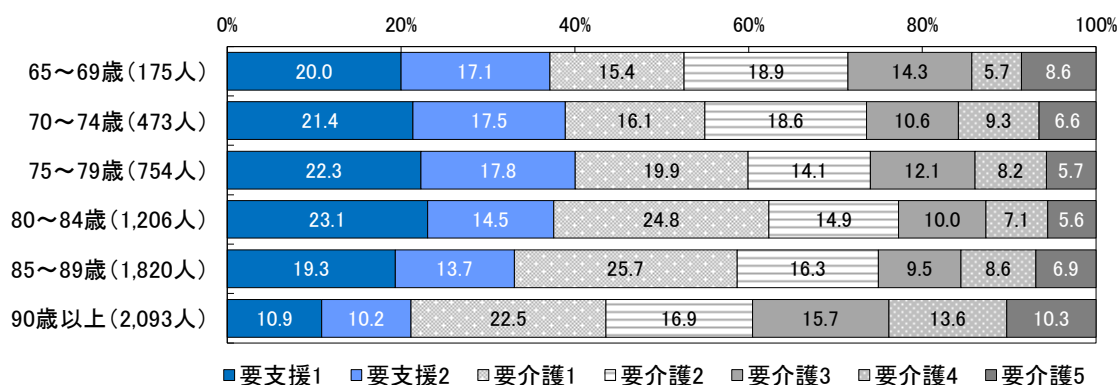
- 本市の令和4年9月末の85歳以上の要支援・要介護認定者数は3,913人であり、認定者数の60.0%を占めています。
- 年齢区分別の住民基本台帳人口に占める認定率は、年齢が高い層ほど高く、85歳以上では約6割にのぼっています。
- 85歳から89歳の認定者では、要支援1・2の割合が低く、要介護1以上の割合が高くなり、90歳以上の認定者では要介護3以上の割合が高くなっています。

図表 10 年齢区分別の認定者数と認定率の推移（廿日市市）



資料：厚生労働省介護保険事業状況報告（月報9月末時点）

図表 11 年齢区分別の認定者数の要介護度別割合（廿日市市）

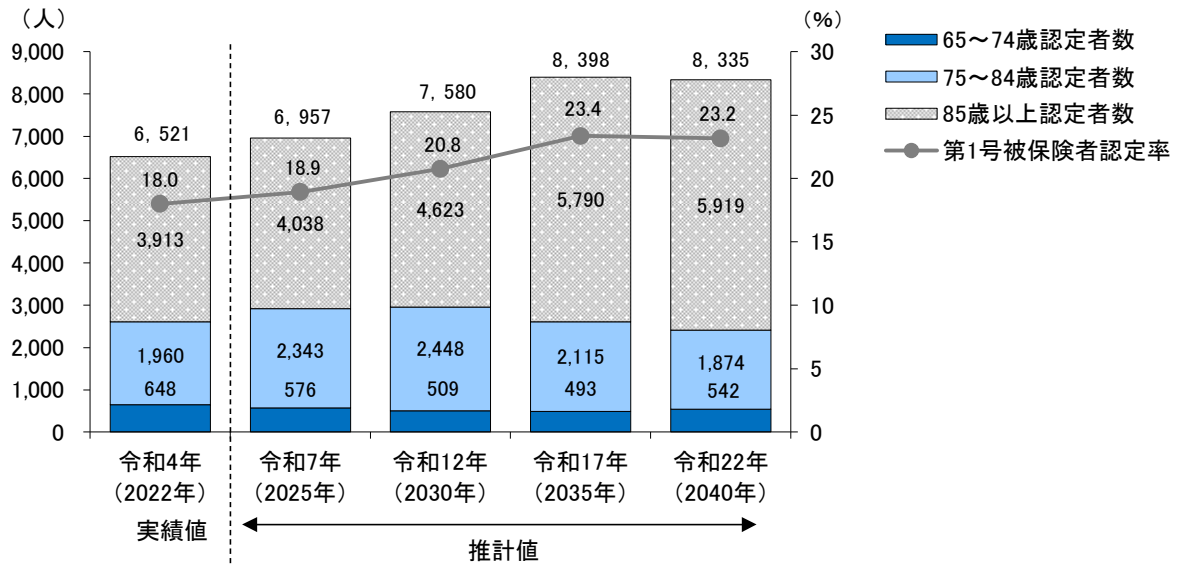


資料：厚生労働省介護保険事業状況報告（月報令和4年9月末時点）

(4) 廿日市市の認定者数の推計

- 令和元年の住民基本台帳人口に占める認定率が今後変化しないと仮定し、人口の推計値に乗じて将来の認定者数を推計すると、認定率の高くなる75～84歳・85歳以上人口の増加により、認定者数も大きく増加すると見込まれます。

図表 12 年齢区別の認定者数（第1号被保険者）の推計（廿日市市）



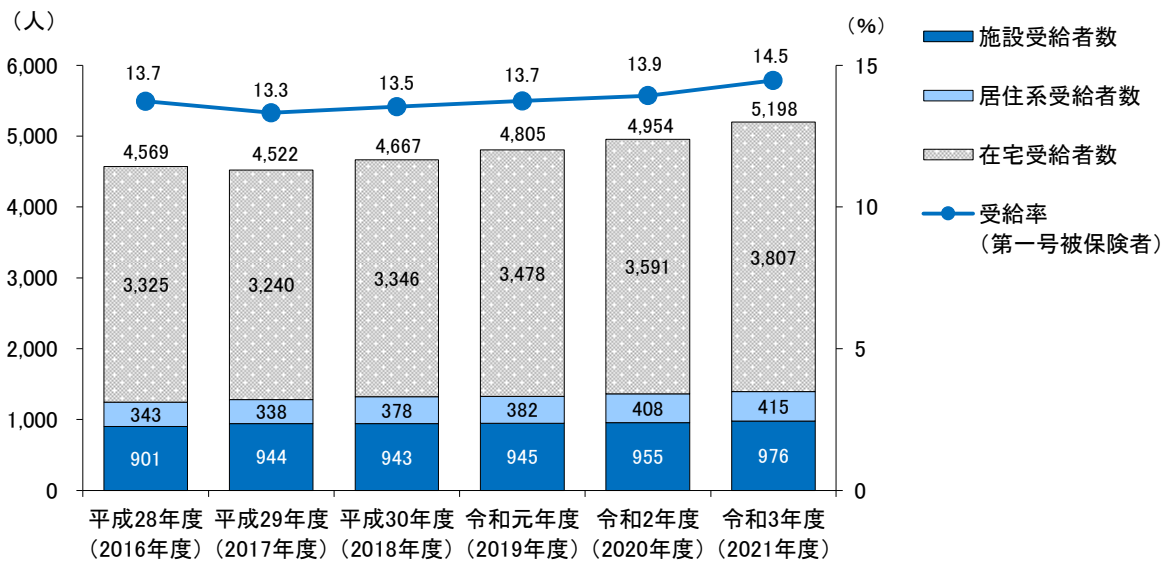
資料: 住民基本台帳人口を基とした推計人口より廿日市市が推計



#### 4 介護保険サービスの受給状況

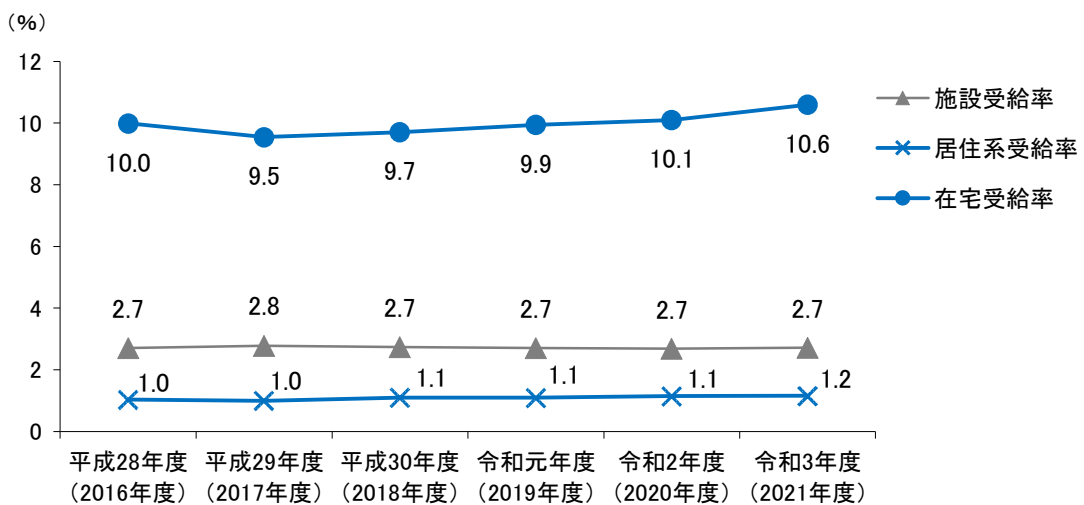
- 受給者数は平成30年度以降増加しており、令和3年度を令和2年度と比較すると、在宅受給者数、居住系受給者数、施設受給者数のいずれも増加しており、特に在宅受給者数の伸びが大きくなっています。
- 第1号被保険者数に占める受給者の割合は上昇傾向にあり、令和3年度は14.5%となっており、在宅受給率が上昇しています。

図表13 介護保険サービス受給者数と受給率の推移（廿日市市）



資料：厚生労働省介護保険事業状況報告（月報12か月分の平均値）

図表14 介護保険サービス受給率（第1号被保険者）の推移（廿日市市）

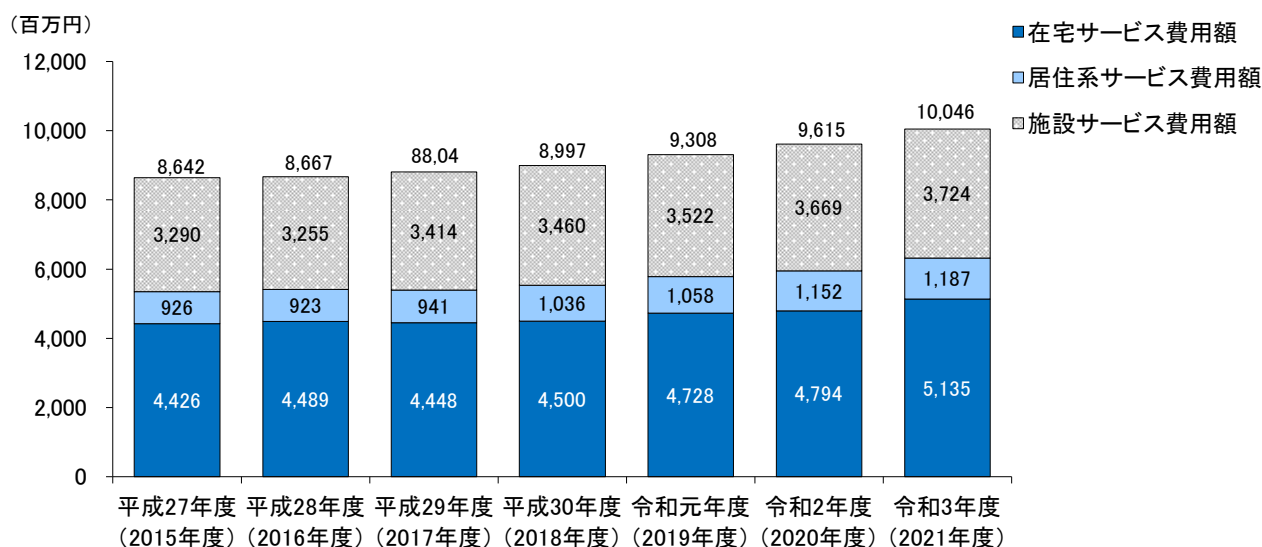


資料：厚生労働省介護保険事業状況報告（月報12か月分の平均値）

## 5 介護保険サービスの費用額

- 本市の介護保険サービスの費用額は増加傾向にあり、令和3年度は在宅サービス費用額が51.1%、施設サービス費用額が37.1%、居住系サービス費用額が11.8%となっています。
- 令和3年度の本市の第1号被保険者1人1月あたり費用額は22,938円であり、全国、広島県よりも低くなっています。

図表 15 介護保険サービス費用額の推移（廿日市市）



資料: 令和2年度まで厚生労働省介護保険事業状況報告(年報)

令和3年度は厚生労働省介護保険事業状況報告(月報2月分までの合計)

図表 16 第1号被保険者1人1月あたり費用額の推移（全国・広島県・廿日市市）

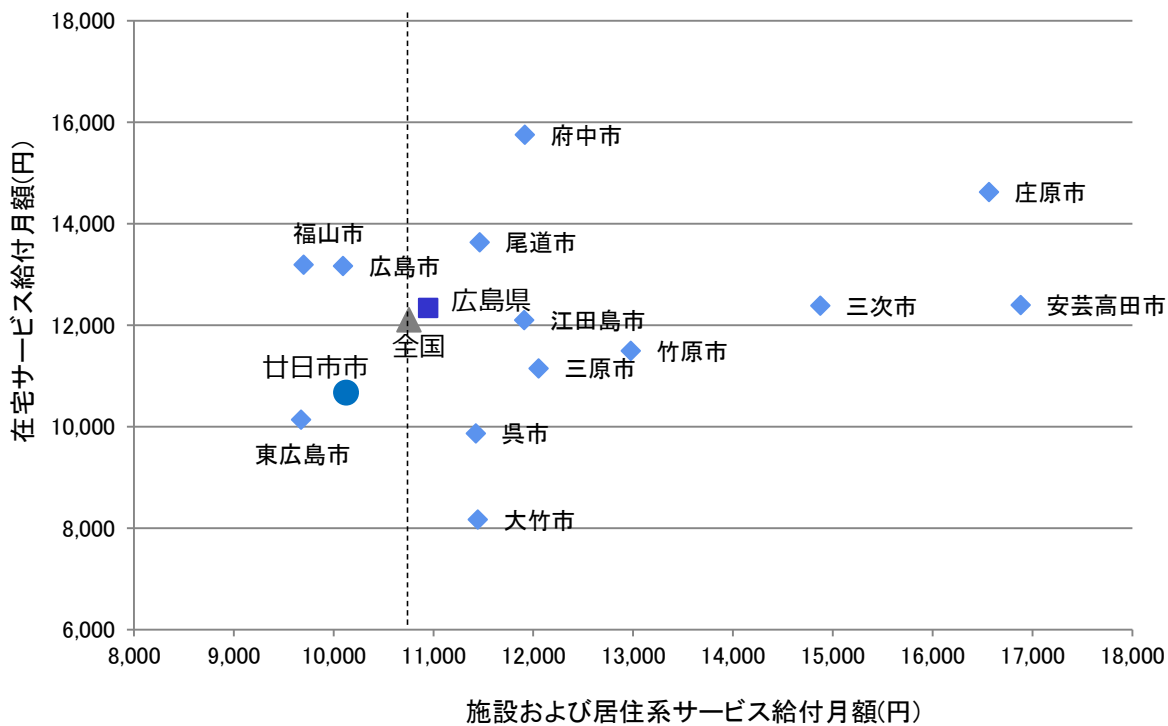


資料: 令和2年度まで厚生労働省介護保険事業状況報告(年報)

令和3年度は厚生労働省介護保険事業状況報告(月報2月分までの合計)

- 本市の第1号被保険者1人あたり給付月額、在宅サービス、施設および居住系サービスともに、全国、広島県よりも低くなっています。

図表 17 第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）  
（令和3年度）

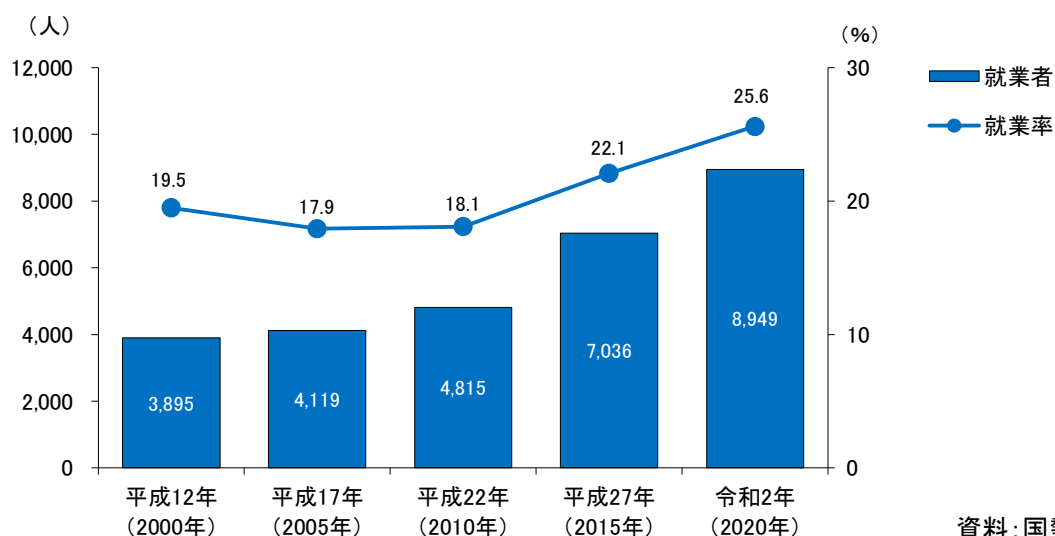


資料: 令和3年度は厚生労働省介護保険事業状況報告(月報2月分までの合計)

## 6 高齢者の就業状況の推移

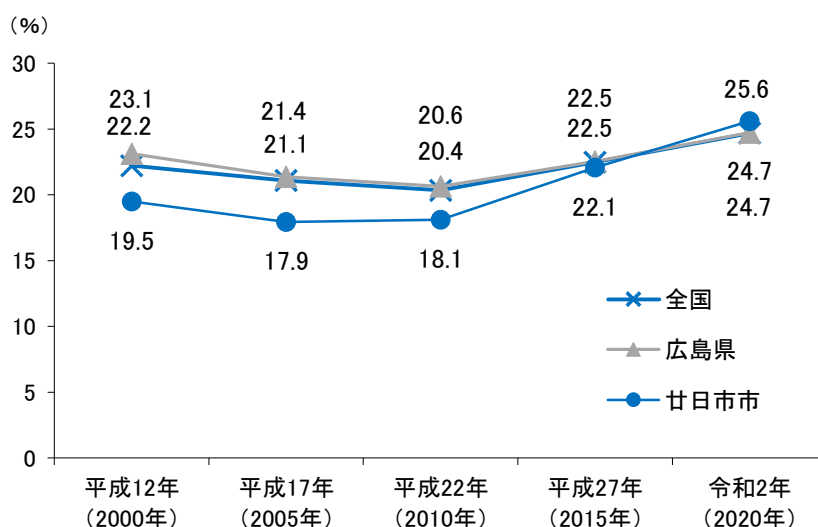
- 国勢調査による本市の65歳以上の高齢者の就業者数は増加傾向にあります。
- 高齢者人口に占める割合も上昇しており、令和2年の就業率は25.6%となっています。
- 本市の高齢者の就業率は、全国、広島県と比較すると平成27年まで低い値で推移していましたが、令和2年に上回りました。

図表 18 高齢者の就業者数・就業率（廿日市市）



資料: 国勢調査

図表 19 高齢者の就業率（全国・廿日市市）



資料: 国勢調査